

2019ZENKO in 東京 第1分科会

市民の力で選挙に勝とう！

9条改憲阻止、安倍とトランプを倒そう！

— DSA(アメリカ民主主義的社会主義者)と共に

日時：2019年7月28日(日) 9時半～12時

場所：星陵会館 大ホール

アクセス：東京メトロ 永田町駅より徒歩3分、国会議事堂前駅・溜池山王駅より
徒歩5分、赤坂見附駅より徒歩7分

国際招請ゲスト

・ビル・イェイツ(DSA国際委員会 アジア・オセアニア活動グループ)

・サミール・アディル(イラク労働者共産党書記長)

米国のトランプ大統領と日本の安倍首相は共に排外主義と差別主義を煽り、軍拡と戦争政策を進め、社会保障を切り捨てる攻撃を進めています。特に安倍政権は憲法9条改悪に見られる戦争国家体制作りを執拗に狙っています。グローバル資本の差別と分断、軍拡と戦争の政策はもはや一刻も放置できないまでに危険な領域に入っています。



アメリカでは、DSA(アメリカ民主主義的社会主義者)の候補が連邦議会下院議員に当選し、国政レベルで一気に躍進しました。これは、グローバル資本の支配に対抗する民衆の命と生活を守る政策を妥協せずに打ち出し、市民の一人一人に働きかける「ドア・ノッカーズ」の活動による成果です。

ビル・イェイツさん(DSA)

ベトナム戦争で軍務につき一般市民を虐殺する米軍に怒りを持ち反戦運動に参加、社会主義者になる。「すべての人に正義と平等がもたらされる平和な世界のために働く」ことを信条としている。DSAは5万5000人以上の会員を持つ米国最大の社会主義組織。

イラクではイラク労働者共産党が、トランプ政権の中東での戦争挑発に反対しています。そして社会サービスを切り捨て大量の失業者を出しているグローバル資本と腐敗政府に対する市民、学生、女性、労働者の闘いを進めています。契約労働者の常勤雇用などを勝ち取っています。

日本でも、安倍の戦争と生活切り捨ての政策に対して憲法9条改悪反対、辺野古新基地建設阻止、消費税値上げ反対などの一致点を広げて市民と野党の共闘が進んでいます。闘いの勝利のためにはグローバル資本の支配に対抗して市民・労働者の要求を実行する政策によって地域に働きかける「ドア・ノッカーズ」の活動を徹底しなければなりません。この活動は参議院選挙を経て、遠からず実施される衆議院総選挙で自公政権を打倒するためにぜひ必要なものです。



サミール・アディルさん(イラク労働者共産党)

2019ZENKO分科会ではDSAやイラクの闘いに学び交流することで社会変革の闘いへの確信と具体的な方針を共に作り上げましょう。 [分科会連絡先：090-3966-0604 森]